

# 今年もよろしく



平成13年 5月10日  
第 17 号

題 字 大館市 宗福寺 先々住  
初代会長 故加藤信三老師  
発行所 南秋田郡五城目町富津内  
待 月 院 内  
秋田県梅花流師範・詠歌の会事務局  
柴 田 弘 一  
編集者 (広報部) 保坂春穂  
印刷所 北秋田郡合川町合川  
米倉印刷所  
☎0186-78-2324

早いもので、梅花主事を拝命して二年が過ぎてしまいました。その間に講員の皆様や、師範・詠歌の会の先生方をはじめとして各講長様には大変お世話になりました。これからもご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年は高祖道元禅師様のご生誕八百年の記念すべき年にあたりました。毎年開催しております秋田県奉詠大会も、五年ごとの全県大会という節目の年にもなり、道元禅師様の八百年を慶讃した記念大会として、十月三十一日天王町総合体育館を会場に盛大に開催できましたことは、講員皆様の日頃の精進の賜と感銘いたしました。

年改まり、今年が高祖道元禅師様の七百五十回忌の予修法要の年にあたります。県内各寺院や団体が、それぞれに信心を表わす法要や催し物を開催の予定です。講員の皆様もこれに参加して、一層の精進をしてください。

さて、検定会については、日程等詳細は後日連絡いたします。それまでに研鑽を重ねて万全の準備を整えて、受検されるようをお願いいたします。「検定の心構え」については、一昨年の

「香里」（梅花新聞第二十一号）に秋田市金足の東泉寺住職柴田弘一先生が、微に入り細にわたる説明をしていただいております。再読していただければと思います。

毎月第二金曜日（八月と一月を除く）には宗務所禅センターに於いて檀信徒講員を対象にした講習会を開催しております。水色房あるいは白色房の方々でも、復習のつもりで、またはもう一度最初から習うつもりで講習会に参加していただければと思います。

秋田市近郊の方々はもちろんですが、遠くの方々でも一度来ていただければ勉強になります。お待ちしております。昨年の特派師範によります巡回講習会も無事に終了しました。新曲「高祖道元禅師学道御和讃・御詠歌」の講習が主になっておりました。道元禅師様の教えを実践しなければ・・・この思いが込められた内容です。梅花の奉詠は「お誓い」にあります。

「符にあらず ふしにもあらず  
声ならず 詠歌の道は その奥にあり」

これからも梅花の道にご精進ください。

秋田県宗務所 梅花主事

雄和町 普門院 住職

本 間 雅 憲



# シリーズ おらほの梅花講

さん 山 じ 寺  
さん 澤 じゅう 寿  
りゅう 龍 ふく 福

住所 北秋田郡森吉町小又  
設立 昭和五十五年三月  
講長 奥山 謹英  
講員 四十七名

私達の福寿寺梅花講は、結成して二十年を数えるまでになりました。

一年の始まりは一月二十六日の新年会です。お寺の台所で「切りタンポ」の準備をしながら、お互いの健康を喜び合い、鍋の準備が出来たら火を細めて本堂に向います。

献灯・献花の列に加り立行でお唱えする「三宝御和讃」。一年の無事を心に念じながら手を合わせる、この一瞬が心引きしまる時です。

勤行式を終え、御本尊様の前で爽やかな思いで記念写真です。年の始めの良い顔が並



「切りタンポ」が運び込まれ、各々の持ち寄りの料理等もいっしょにテーブルに並ぶので狭いほどです。方丈様から新年の挨拶をいただき乾杯となります。ゲームがあったり、馴れない作法でいただくお抹茶があったりと、本当に楽しい時間もあるという間に過ぎてしまいます。

びます。秋田美人（？）の晴れ姿！

これからの楽しいお昼となります。台所から

旧暦二月十五日はお涅槃会、月遅れの五月八日は花祭りを行ないます。

二十年前、初めて梅花教典を開いた時、符を知らない私はその難しさに驚き、後づさりした事を今も頭からはなれません。

遅々として人並に歩かない、音痴も大変なものと感じていても、ふつと邪念が頭をよぎれば、切角の調子も見事はずれ、苦笑しながら後を追っている私です。

練習は皆さん真剣そのものです。歌詞について

は、折々の箇所になんで丁寧に解説して下さるのでとても納得出来ます。方丈様の法話をお聴きする機会もあり、ますますお寺が身近に感じられます。

梅花の輪（和）と絆を深め、次の練習日に集える事を心待ちにしながら参加させていただきます。

紹介者 講員 中嶋市子

## テレホン梅花予定表

☎〇一八一八七三二七六七六

5月5日～高祖道元禅師学道御和讃

12日～高祖道元禅師学道御詠歌

19日～観世音菩薩御和讃

26日～報恩供養御詠歌

6月2日～無常御和讃

## 受話器から梅花が聞こえる



さん 山 じ 寺  
 かく 鶴 しょう  
 はっ 白 りん 倫 勝

住所 能代市字仁井田白山  
 設立 昭和五十五年四月  
 講長 山田 晃一  
 講員 四十名

私達の菩提寺「倫勝寺」は、能代市の中

心部より東側に位置し、開山以来四百三十年の歴史があります。方丈(住職)様方は三代にわたって日本書道界に名を連ねる書道家揃いで、私達の自慢の一つです。

梅花講が出来ましたのは、昭和五十五年でした。初めは八十人位の講員でしたが、二十年の歳月が経つと、お歳を召したり病気などで、今は四十人になりました。

毎月二回、昼の部と夜の部に分かれて二時間づつの練習日があり、方丈様より御指導いただいております。練習の後は、お茶やお菓子をご馳走になり語らいの楽しい一時を過ごします。ま



さに報謝御和讃の心境でありがたいことです。年間の行事としては、涅槃会・釈尊降誕会・盂蘭盆会・成道会等の法要を行っております。昨年は晋山退董式の大法要にも参加奉詠しました。さて私は梅の花が大好きです。中でも寒梅のけなげさは大好きです。「庭上の一寒梅、笑って風雪を侵して聞く、争わず又力ず、自から百花の魁を占む」

(新島襄)

花は皆美しくそれぞれのお趣きがあります。毎日お唱えする御和讃御詠歌もまた悲しみや苦しみを包み込んで心を癒してお救い下さいませ。日本国中にたくさんのお梅花講の仲間がおります、なんと素晴らしく有難いことでしょう。同じ教えの本に集い合掌する姿こそが、同行同修の姿ではないでしょうか。共に集い声を合わせて奉詠し、法悦に浸りながら「同行同修万歳」と叫びたい気持ち

受話器から梅花が聞こえる

9日〜無常御詠歌

16日〜報謝御和讃

23日〜正行御和讃

30日〜正行御詠歌

※ご希望の曲やご要望、ご意見などをお寄せ下さい。

〒010-0111 秋田市金足岩清字前山三  
 東 泉 寺  
 (☎) 〇一八八七三一二六七五

ちになります。

昭和六十三年秋田市の補陀寺で授戒があり、五日間の修行に加えさせていただきました。毎日朝夕に百人余の僧侶の読経に浸り、只々ありがたく法悦と合掌の毎日でした。古稀を過ぎた今、あの時の感激を忘れずに、毎日清らかな心で善行を積む努力をして余生を生きたいと思っております。

散りぬべき時しりてこそ世の中の

花は花なれ人は人なれ(細川ガラシャ作)

紹介者 講員 袴田トヨ





よろこびの登壇

10月31日

南秋田郡天王町  
総合体育館

千五百人  
九十六講の詠讚



道元禅師生誕八百年 出班灌沐法要





清興「達磨大師影讃曲」 演奏 尺八 石井透山、鈴木鈴秋 箏 宮崎孝子 詠讚「烏合衆」



次は出番ですヨー！ ロビーで登壇法の説明を聞く



十月二十三日・二十四日  
矢島町 龍源寺

# 梅花流講員一泊研修会に参加して



本堂で記念の一枚

高祖道元こうそだうげんぜんじ禅師七〇〇回忌に創立された  
した梅花流が、平成十四年には五十周年  
を迎えようとしているこの時、県の師範  
詠範の会主催の研修会が昨年十月二十三  
日〜二十四日にわたりまして、生駒城主  
ゆかりの菩提所ぼだいじょ金嶺山龍源寺様を会場に  
開催されました。

漸くようやく美しさを増して来た紅葉の山々を  
満喫しながら城下町矢島の高台に聳そびえる  
大伽藍がらんの前に立ち、新築間もない大楼門  
を見上げた時、思わず身の引き締まる思  
いが致しました。

一時から受付が始まり、郡市内各講か  
ら参加された寺族・檀信徒講員八十名、  
師範老師の方々のご指導の下、開講式が  
行われました。日程説明の後ただちに全  
体講習、分科会講習に入り、「正行御詠  
歌」「学道御和讃・御詠歌」の詠唱、特  
別所作の法具の取り扱い、イロ、ツヤの  
解説と熱の入った講習が五時迄行われま  
した。

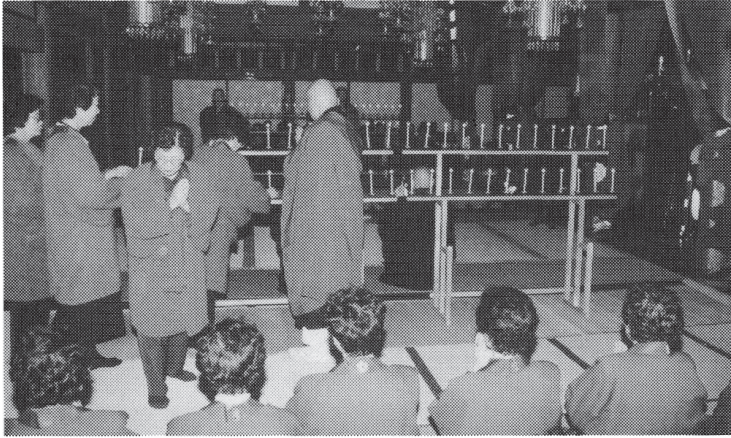
五時半から薬石やくせき（夕食）、五観ごかんの偈げを  
お唱えし、味付け、盛り付けの見事な精  
進料理に一同深く感銘いたしました。

薬石後、十数人ずつマイクロバスの送迎  
で、土砂降りの雨の中を町の温泉に案内さ  
れ、広々とした湯に浸かり、思いがけない  
心遣いつがにすっかり恐縮きようしゆくしてしまいました。  
七時半より万灯供養まんとうくよう。静寂せいじやくの本堂の両側  
に、講員一人一人の手によってローソクに  
明かりが灯ともる中、堂頭どうちゆう老師（住職）の導師  
のもと、大勢の御老師様の沁しみみいるような



おいしい食事に感謝！





心洗われた万灯供養

読経に浸り、心洗われる思いが致しました。ある講員さんは「今日は母の命日だった」また「夫の命日だった」と目頭を押さえて居られ、参加者一同、縁ある人々の冥福を心から念じられた感動の法要となりました。終わって、開枕（就寝）。指定された庫裏、位牌堂等に分散して休ませて頂きました。

二日目。六時起床、予定の坐禅が中止になりました。それは広大な本堂の萱屋根の普請の為か、それとも異常気象の影響の為かカメムシの異常発生に見回れた為でした。

11月8日・9日

能代市 玉鳳院 会場

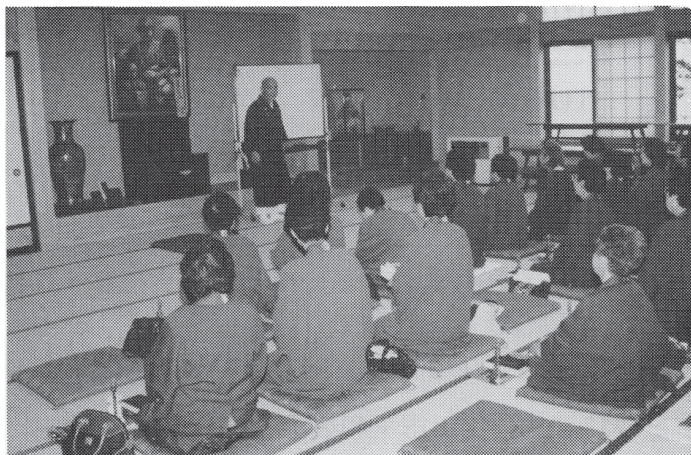


朝のお勤め

残念でした。朝課の後小食（朝食）に入り、新米で炊き上げられたお粥が黒塗りの四つ腕に盛られ、ゴマ塩、梅干し、梅肉和え…：禅寺の朝食の雰囲気になり、賞味させていただきました。

八時半から分科会に分かれ、二講座がそれぞれ講師様から御指導を頂き、なかなか体得出来ない奥の深さを痛感して時間が終了しました。

閉講式には、堂頭老師から龍源寺の歴史をお聞きし、連綿と続いた時の流れを改め



講習は分科会もありました

て振り返り、今生きている幸せを深くかみしめさせられました。

最後は一同心をこめて「同行御和讃」をお唱えし、会場をお引き受け戴いた龍源寺様、講師の師範の方々、お手伝い下さいました大勢の方々の御厚意に心から感謝申し上げます、御準備頂いたカレーライスに最後の名残を惜しみつつ、帰路につきました。

恵林寺 寺族 本間 綾



# 秋田県奉詠大会

## ◆中央・県南大会

六月三十日（土）

会場 西目町 シーガル  
事務局 本荘市 長谷寺  
浅田高明師

## ◆県北大大会

七月十八日（水）

会場 能代市文化会館  
事務局 能代市 倫勝寺  
山田晃一師

※開催要項等は各寺院へ後日  
連絡します。

# 全国奉詠大会

福岡県 マリンメッセ福岡  
五月二十三日・

二十四日

秋田県登壇日 五月二十四日  
開山忌御詠歌

## 禅センターの梅花講習会予定



### 1. 檀信徒講習会

毎月（8月1月を除く）第二金曜日  
\*午前10時30分～午後3時まで

月 日	講習曲目	講師
5月11日	正法御和讃 無常御和讃	富岳正純師範 蔦谷達徳師範
6月8日	修証義御和讃 追善供養御和讃	柿崎隆穂師範 伊藤道人師範
7月13日	同行御和讃 孟欄盆会御和讃	小野碩瑛師範 三浦賢翁師範
9月14日	坐禅御詠歌 高祖・太祖讃仰御詠歌	浅田高明師範 保坂春聴師範
10月12日	正行御和讃 御授戒御和讃	蔦谷達徳師範 佐藤俊晃師範
11月9日	成道御和讃 成道御詠歌	亀谷隆道師範 富岳正純師範
12月14日	報謝御和讃 誓願御和讃	三浦賢翁師範 柿崎隆穂師範
平成14年 2月7日	涅槃御詠歌 報恩供養御和讃	伊藤道人師範 小野碩瑛師範
3月8日	彼岸御和讃 同行御詠歌	保坂春聴師範 亀谷隆道師範

### 2. 宗侶・寺族研修会

\*午前10時30分～午後3時30分まで

月 日	研修曲目	講師
5月14日	基本作法 正法御和讃 坐禅御詠歌	山中律雄師範
7月16日	修証義御和讃 花祭御和讃 その他	細谷裕昌師範
10月15日	立行 作法 成道御和讃 その他	佐々木禅壹師範
11月16日	坐行 立行 同行御和讃 その他	本間俊英師範
平成14年 2月15日	特別所作の曲 紫雲 その他	柳川浩二師範

◎いずれも受講は無料です。昼食持参・  
初心者も大歓迎です。  
都合により曲目や講師に変更あります。

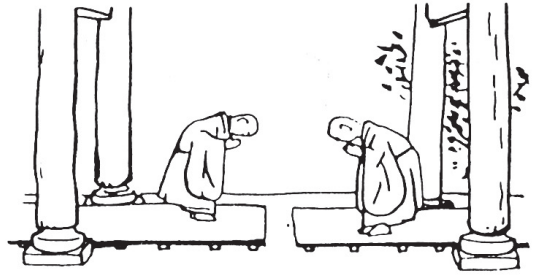
会場・問い合わせ先 〒018-0812 秋田市泉三嶽根15-18（秋田市平和公園入り口です）

曹洞宗秋田県宗務所・禅センター TEL 018-868-6871  
FAX 018-868-6872



チヨット ぶじよほう

「葉っぱのフレディ」を読む



「なぜ人は死ぬのだろう。死んだら何処へ行くのだろう。いのちとは何だろう。」僧侶として、さまざまな葬儀の場面に立会い悲嘆の姿を見る度に、問い掛けられる問題である。

逝く人が若い人であったり、不慮の死を遂げた人であれば、なおさらやるせなく答えようもない。仏教を学び導くものとして、知りうる限り、お釈迦様の教え、お経の中の言葉を説いてみても、納得させられるものではなく、自分の非力さと仏教の難しさを思い知らされる。

「ひとたび生まれしものは、必ず死すべきものにて」わかっていても認識しがたく、生きることへの不安、死というものへの恐

れが付きまとい、「知りたる道に迷うというのは即ち此の事なり」となって、苦しみを抱え込んでしまうことになる。

そんな時に、この『葉っぱのフレディ』という童話を知った。

春に大きな木の枝に生まれた一枚の葉っぱが、夏、秋を過ごし、冬に散って行く（死ぬ）短い一生の物語だ。その中で、死を学び、生きることの意味を考え、いのちの永遠性が語られている。

サブタイトルに「いのちの旅」とあるように、いのちのあるものに確実に死は訪れ、形を変えながら、次のいのちへと受け継がれ伝えられていく。いのちは変化し続け、すべての存在するいのちにはみな意味があり、この世の中に無駄に生まれてきたものは何一つない。ということが、フレディの生涯を通してやさしく示されている。

作者はメッセージに記す。「この絵本を死別の悲しみに直面した子供たちと、死についての確な説明ができない大人たち、死と無縁の青春を謳歌している若者たちに贈ります」

その通り、子供にやさしく、大人には目からうろこが落ちる思いで受けとめられた。

◇七才の男児「生まれてきたら、死ぬのをかくごする。ぼくににとってまだ早いことですが、早めにみつつけておきます」

◇十才の少女「死ぬことはひとつの変化」ときいてすこし安心しました。死ぬことはいけんしてないからこわいのかなと思います。でもやっぱり死ぬのはこわいです。でも何度かよむとやっぱり安心します」

◇高校生「生きる、死ぬ、とは全く違うものだと思っていたけれど、実は強くつながっていたのですね。死とは恐れるものでなく、自然と大人になるように、自然と季節が変わるように、本当に自然なことなのですね」

◇大学生「人間は死ぬために生まれたのではなく、生きるために生まれたということであらためて教えられた気がします」

一目で、この童話が「癒し」となり、難解な宗教書より人々の心に届いていることがわかる。書かれてあることは、仏教の無常であり、生を明らめ死を明らむる物語である。

大自然の摂理によって生かされ、生きる事の意味、いのちの存在に気づいた時、「生死を離れて涅槃」となるのだ。

ぜひ、この童話を買って呼んでほしい。親子で読んで、永遠のいのちを実感してほしいと思う。

（書名『葉っぱのフレディ』いのちの旅）

合川町 太平寺副住職

亀谷 隆道



# 宗務所検定会

## 県北地区 (十一・十八教区)

九月一日(土) 大館市北秋くらぶ  
事務局 鷹巣町 龍泉寺 佐藤俊晃師

## 中央地区

九月一日(土) 秋田温泉さとみ  
事務局 五城目町 待月院 嶋森憲雄師

## 県北地区 (九・十教区)

九月十三日(木) ニツ井ヘルスセンター  
事務局 峰浜村 盛澤寺 富岳正純師

## 県南地区

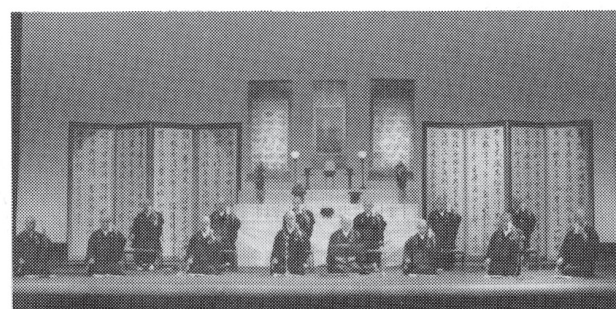
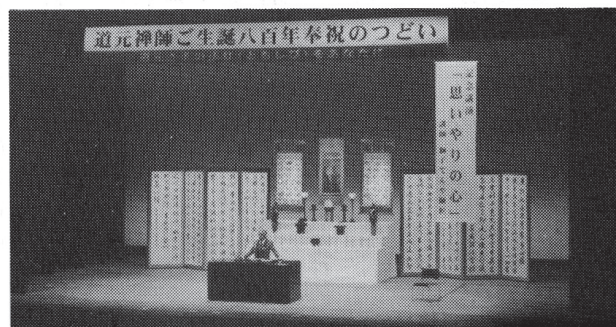
九月十三日(木) 本荘市 恵林寺  
事務局 本荘市 東林寺 佐藤道昭師

## 三級教範・三級詠範

十月五日(金) 秋田温泉さとみ

※詳細は、後日各寺院へ連絡します。

## 道元禅師ご生誕八百年 奉祝のつどい



平成12年11月29日 秋田市文化会館

### 編集後記



◎ご無沙汰をしました。編集後記を書くたびに、発行の遅れを詫びながら書き出すのが、毎号になってしまいました。読者の皆様や会員の皆様にお詫び申し上げます。

◎久しぶりに県内で「御授戒」が開かれます。今年十月末に能代市の玉鳳院様で三日授戒会が、また明年六月には、県宗務所主催の道元禅師七百五十回忌報恩大授戒会が秋田市の補陀寺様を会場に、開催の予定になっております。

梅花講員ならずとも、一生に一度は戒弟として参加してみたいものです。また、お世話になった御先祖さまや身近な方を「亡

戒」として授戒の縁に供養して貰うこともできます。ぜひ御授戒の功德についてください。

◎梅花流全国奉詠大会を秋田県で開催したいとの関係者の悲願が実現の方向にうごきました。粘り強く宗務庁へ働きかけたものです。

◎昨年は道元禅師生誕八百年の年でした。来年は没後七百五十年となります。今年はず修法要の年となりました。梅花は道元禅師様が詠んだ曲が多くあります。道元禅師様の詠んだ歌詞を自分達がそのまま唱えることができる、その喜びを感じたい。

(春聴記)